※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０５

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「私たちの歴史総合」　（清水書院）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・近現代に関する日本と世界についての歴史の理解を深め、自分たちの生活に活かすことに努めること
・様々な諸事象について「なぜ？」と疑問を持つことを大切にし、常に思考し、探求心をもつこと
・自分たちの身の回りの生活の中に常に歴史が存在しており、先人たちの意志や諸事象によって今が成り立っていることを自覚すること。

２　学習の到達目標

・社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会と民主的で平和な国家・社会を形成する公民としての資質・能力を養う。
・現代の諸問題と歴史的事象の関係性について考察し、それらを解決するために思考し、あらゆる選択肢から判断し、表現する能力を養う。
・近現代に関する世界と日本の歴史的事象について多角的に考察し、理解を深め、相互的に捉える資質・能力を養う。
・諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・近現代の歴史にかかわる諸事象についての理解を深め、現代社会の諸課題の形成と結びつけて考察することができている。 ・諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができている。	・近現代の歴史に関わる事象について、年代、推移、総合の関連、因果関係などあらゆる角度から着目し、多面的・多角的に考察することができている。 ・歴史に見られる諸課題について、自分の意見を構想し、それを表現することができている。	・近現代の諸事象について、その問題点と課題を主体的に追究し解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や歴史に関する深い理解を通して、現代社会に生きる公民としての自覚や我が国に対する愛情、他国と他国の文化を尊重することの大切さについて自覚できている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	歴史の扉	(1)歴史と私たち 日本とスポーツの歴史、8 月 15 日とそれぞれの終戦	a:現代社会における諸事象が日本や世界の歴史とつながっていることを理解している b:近代化、国際秩序の変化、大衆化、グローバル化などの歴史の変化を関わらせて、現代社会の成り立ちと日本の歴史、世界の歴史との関連性について考察し、表現している c:自分の身の回りの生活や物事が日本や世界の歴史的諸事象の上で成り立っていることを踏まえた上で、主体的に学習しようとしている	定期考査 確認テスト	定期考査 提出物	観察 提出物
	近代化と私たち	(1)18 世紀までの世界 18 世紀の中国とアジアの貿易、18 世紀のイギリスとアジア・アフリカ等 (2)工業化と世界市場の形成 産業革命による経済発展と社会の変化、世界市場の形成とイギリスのアジア進出、日本の開国とその影響等 (3)国民国家の形成と立憲体制 2つの市民革命と近代民主主義社会の成立、国民統合とナショナリズム、明治維新期の日本と世界、近代国家への移行と憲法の制定等 (4)帝国主義とアジア、アフリカの変容 列強の帝国主義とアジア・アフリカへのその影響、日清戦争とその影響、日露戦争等	a:現代の諸課題の形成に関わる近代化の歴史について理解している 18 世紀から 19 世紀にかけての日本と世界に関する歴史の理解を深め、国家の在り方の変容と世界の結びつきについて理解している b:18 世紀から 19 世紀にかけての日本、または世界各国の動向について比較したり相互に関連付けたりするなどして、多角的・多面的に考察し、表現している c:日本と世界の近代化に関する歴史的諸事象について、自分の身の回りの生活や物事と関連付けて、主体的に学習しようとしている	定期考査 確認テスト	定期考査 提出物 グループワーク 発表	観察 提出物 グループワーク 発表

※令和４年度以降入学生用

後期	国際社会の変化や大衆化と私たち	(1)第一次世界大戦と国際社会 第一次世界大戦、社会主義革命、国際協調体制、アジアの民族運動等 (2)1920 年代の世界と大衆時代の到来 大衆の政治参加、女性の社会参加、大衆社会の形成等 (3)国際協調の挫折と 2 度目の世界大戦 世界恐慌、ファシズムの台頭、日本の大陸進出、第二次世界大戦等 (4)アジア太平洋戦争、戦争が変えた人々の暮らし、戦後世界の新たな枠組み、敗戦後の日本とアジア、冷戦下の東アジア等	a:現代の諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史について理解している 20 世紀における 2 度の世界大戦が与えた世界への影響と世界の変容、国際社会の発展について理解を深めている b:20 世紀における 2 度の世界大戦が与えた世界への影響と世界の変容、国際社会の発展について、日本、世界の地域、世界各国とあらゆる立場から考察し、表現している c:大衆化、国際社会の発展等について、現代社会における諸課題との関連性に着目しながら、主体的に学習しようとしている	定期考査 確認テスト	定期考査 提出物 グループワーク 発表	観察 提出物 グループワーク 発表
	グローバル化と私たち	(1)冷戦と国際政治 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治と社会運動、核兵器の脅威と核軍縮等 (2)世界経済の拡大と日本 西ヨーロッパ・東南アジアの地域連携、戦後の日本とアジア諸国との関係、高度経済成長等 (3)市場経済の変容と冷戦の終結 石油危機と価値観の転換、アジアの成長、冷戦の終結等 (4)冷戦終結後の世界 民主化の進展と冷戦終結後の日本、市場開放と経済の自由化、地域統合の進展と課題、情報通信技術の発達、冷戦終結後の紛争と平和への取り組み等	a:現代の諸課題の形成に関わる国際体制の変容、世界経済の発展、民主化の発展、平和への歩みについて理解している 20 世紀における冷戦が及ぼした世界への影響と世界経済の拡大と国際社会の発展によるグローバル化について理解を深めている b:20 世紀における冷戦後の世界の変容について、日本や世界各国のあらゆる立場から考察し、表現している。 c:現代社会において発展したグローバル化の歴史について、現代社会の諸課題や諸事象と結びつけながら、主体的に学習しようとしている	定期考査 確認テスト	定期考査 提出物 グループワーク 発表	観察 提出物 グループワーク 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度